看護基礎講座テスト

1. 重症児を動かすうえでまず考えるのが①表情である②呼吸である
2. 唾液は最初に①飲むことを教える②出すことを教える
3. スピーチバルブは①吸気の時に弁が閉じる②呼気の時に弁が閉じる
4. 人工鼻とスピーチバルブで唾液が垂れ込みにくいのは①スピーチバルブである

②人工鼻である

1. 重症児の骨折で多いのは①大腿骨頸部（股関節）骨折である②大腿骨遠位端（膝の上）である
2. 姿勢を取るときに注意することで間違っていることは①唾液の処理に気を付ける②どこを支えるか考えておく③できるだけ早く動かす④本人に準備してもらう
3. 側弯のある子の抱っこは基本的に①凹側から行う②凸側から行う
4. 座るときに大事なことはできるだけ①仙骨に体重をかける②坐骨に体重をかける
5. 小さい子のポジショニングやうつ伏せで首の位置は①出来るだけ横を向ける②首と身体が可能な限りねじれないようにする

10、歩行の介助は基本①体幹を支える②手を引いて歩く

正解は１、②　２、②　３、②　４、①　５、②　６、③　７、②　８、②　９、②　⒑、①